

月見が池

(つきみがいけ)



全景



桜が咲く水辺

ため池の概要

ため池の所在地

山梨県上野原市

ため池の特徴

月見が池は、河川からの取水が困難な河岸段丘上の農地を潤すため、昭和6年に造成されました。大正8年に整備された幹線水路(8,700m)から導水した水を溜め、末端の農地まで配水しています。

池周辺には桜やアジサイ・ツツジ等が植栽され、四季折々に人々を楽しませてくれます。

また、カモ等の鳥類、コイやフナ等の魚類など、多様な動植物が生息する生態系豊かな水辺空間となっており、隣接する上野原小学校では、鳥類の巣箱を設置し、環境学習を行っています。

ため池完成時に町の安泰を祈願して弁財天の社が祀られており、毎年7月には多くの参拝者が集まる神社例祭が行われています。その際、地域の人々によるため池周辺のゴミ拾いが行われています。

関連情報